

ま え が き

平成21年度の我が国経済は、失業率が高水準で推移するなど厳しい状況にあるものの、持ち直していくと見込まれる一方で、物価の動向は緩やかなデフレ状況にあり、消費者物価は、大幅な供給超過、前年度の原油価格高騰の反動等から、下落に転じると見込まれ、これを踏まえ、国においては、景気の持ち直しの動きを確かなものとするため、「明日の安心と成長のための緊急経済対策」を着実に実施することとし、所要の予算措置を行ってきたところであります。

地方財政においては、景気後退等に伴い地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が急激に落ち込む中で、社会保障関係経費の自然増や公債費が高い水準で推移すること等により、財源不足が大幅に拡大するものと見込まれたことから、定員の純減や給与構造改革等による給与関係経費の抑制や地方単独事業費の抑制を図ることで、地方財政計画の規模の抑制に努めることとする一方、喫緊の課題である地方再生に向けた自主的な地域活性化施策の充実等に対処するため、安定的な財政運営に必要な地方交付税及び一般財源の総額を確保する対策が講じられたものであります。

このような状況を踏まえ、本市の平成21年度の当初予算編成では、各種事務経費や補助金などの抑制による経費の削減、投資的経費の削減による地方債の抑制、将来負担の軽減を図るための借換債の発行など、歳入・歳出の全般にわたる見直しを行い、「総合計画」の重点事業を中心に施策展開を図るとともに、年度中の補正予算においても、国と歩調を合わせた「経済対策」にも鋭意取り組んだものであります。

この厳しい財政状況下ではありますが、本市の行政拠点であるとともに「協働のまちづくり」の推進を担う新庁舎の建設事業について取り組むことができ、将来を担う子どもたちの教育に係る施策や地域の安全・安心を守る施策については、石巻小学校、釜小学校の耐震補強事業、小学校や保育所等の耐震診断、小中学校のコンピュータ整備などの教育環境の整備、河北消防署北上出張所建設事業、蛇田支所等複合施設の用地取得、石巻工業港曾波神線街路整備事業等などを実施したほか、緊急雇用創出事業を実施したところであります。

依然として先行きの不透明な厳しい経済情勢下ではありますが、豊かな暮らしの基盤である経済・産業が活性化し、多くの市民が元気で明るく輝いているまち、「わたしたちが創りだす 笑顔と自然あふれる 元気なまち」を実現するため、多様な行政需要に対応した重点施策に取り組んでまいりますので、議員並びに市民の皆様のなお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年9月

石巻市長 亀山 紘